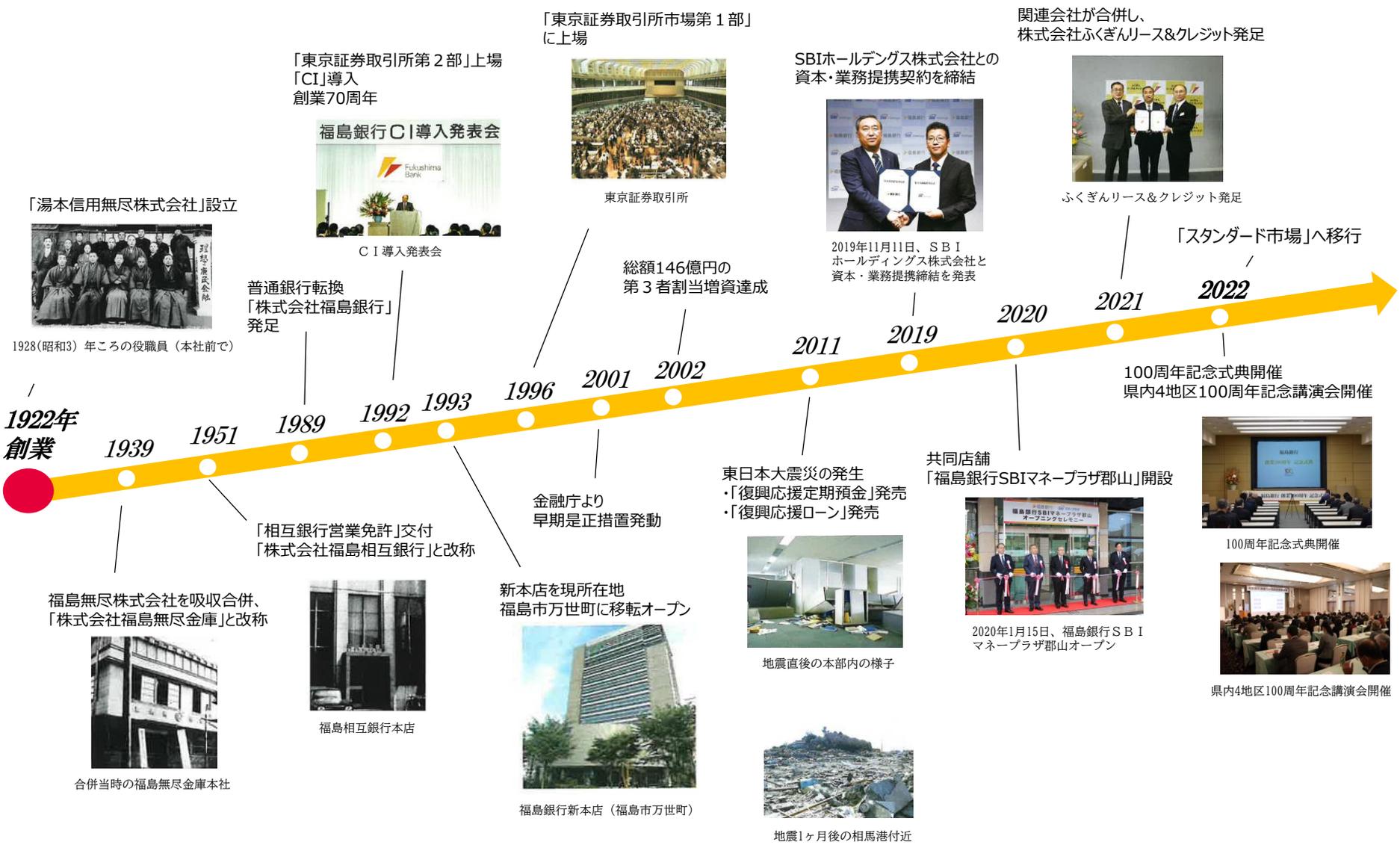


# 2023年度第2四半期 (2023年9月期) 決算の概要

# 福島銀行100年のあゆみ

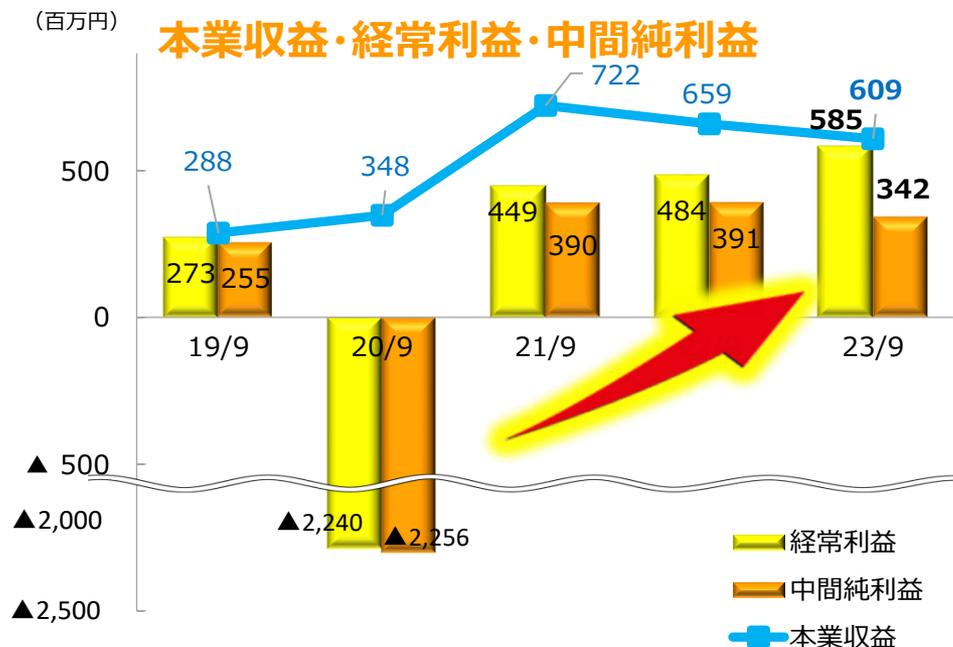






# 1.決算トピックス

# 1.決算トピックス (本業収益・経常利益・中間純利益)



## 本業収益・中間純利益

ともに安定した黒字を確保

## 経常利益は増益

- ・ 貸出金利息・受入手数料が増加するも、営業経費の増加により、本業収益は低下
- ・ 銀行の通常の活動による利益にあたる経常利益は増加
- ・ 法人税等合計が増加したことにより、当期利益は減益となった



- ・ 個人向けローンの増加により貸出金利息が増加



- ・ 保険販売手数料、融資関連手数料が増加したことにより受入手数料は増加



- ・ 次期システム関連費用により営業経費は増加

# 1.決算トピックス (総貸出残高<私募債含む>)

## 総貸出残高(私募債含む)は、6,221億円(前年同期比▲10億円減少)

- ・ 営業店事業性貸出残高(私募債含む)は、2,538億円と、コロナ関連融資の返済が進み同▲156億円減少
- ・ 住宅ローンはソリューションプラザ・ローンプラザを中心に推進し、過去最高の1,971億円と同+72億円増加

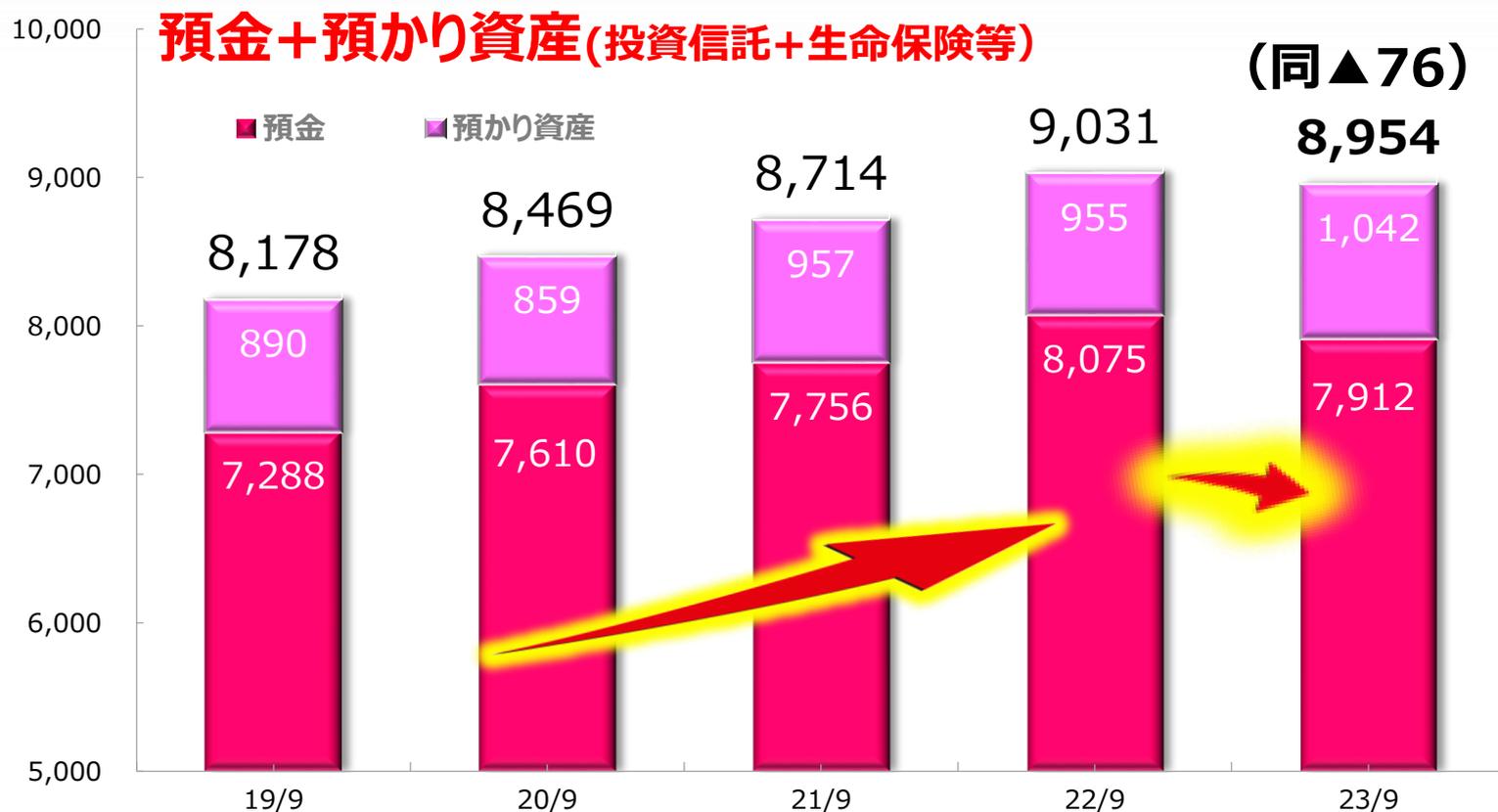


# 1.決算トピックス (総預かり資産)

**総預かり資産(預金+預かり資産)の残高は、8,954億円(同▲76億円減少)**

- ・ 総預金は7,912億円とコロナ関連融資の運転資金活用が進み、法人預金を中心に同▲163億円減少
- ・ 預かり資産は金利上昇に伴い保険販売が好調に推移し、1,042億円と同86億円の増加

(億円)





## 2.決算の概要

# 2.決算の概要 (2023年9月期の実績)

## 単 体

	23/9	22/9	前年同期比
(百万円)			
1 経常収益 (①+⑦)	5,323	5,255	68
2 業務収益①	5,136	5,114	22
3 貸出金利息	3,403	3,371	31
4 有価証券利息配当金⑦	287	334	▲46
5 (A)投信解約益	-	-	-
6 受入手数料	1,380	1,311	68
7 国債等債券売却益②④	-	-	-
8 業務費用③	4,396	4,486	▲89
9 一般貸倒引当金繰入④	▲153	▲25	▲128
10 国債等債券売却損・償還損・償却⑤⑥	22	56	▲33
11 営業経費	3,843	3,798	45
12 人件費	1,792	1,781	10
13 物件費	1,786	1,738	47
14 業務純益⑥ (①-③ (金銭の信託見合費用除く))	740	628	111
15 (B)コア業務純益 {⑥- (②-⑤) +④}	609	659	▲49
16 <b>本業収益 (投信解約損益除くコア業務純益) (B)-(A)</b>	<b>609</b>	<b>659</b>	<b>▲49</b>
17 臨時収益⑦	186	140	46
18 株式等売却益①	51	-	51
19 償却債権取立益	32	33	0
20 臨時費用⑧	341	284	57
21 個別引当金繰入額	284	211	72
22 株式等売却損・償却①	2	0	2
23 臨時損益⑨ (⑦-⑧)	▲154	▲143	▲11
24 経常利益 (⑥+⑨)	585	484	100
25 特別損益	▲2	▲0	▲2
26 法人税、住民税及び事業税	10	86	▲76
27 法人税等調整額	228	5	223
28 中間純利益	342	391	▲48
29 不良債権処理費用	131	187	▲55
30 有価証券関係損益 (⑦+①-⑧+②-③)	313	278	35

## 23年9月期 損益状況

**23年9月期は増収減益も本業収益・中間純利益ともに安定した黒字を確保  
なお、業務純益・経常利益は増益となった**

- **業務収益は5,136百万円。前年同期比+22百万円の増収**
  - ・ 貸出金利息は、貸出金利回りが同0.007%低下したものの、貸出金平残が8,627百万円増加したことにより、同+31百万円
  - ・ 有価証券利息配当金は平残が4,374百万円増加したが、利回りが同0.067%低下したことから同▲46百万円
  - ・ 受入手数料は、保険販売手数料、融資関連手数料の増加により、同+68百万円
- **業務費用は4,396百万円と、同▲89百万円の減少**
  - ・ 支払手数料は住宅ローン及び消費者ローン残高増加などにより同+24百万円
  - ・ 営業経費は次期システム関連費用の増加などにより、同+45百万円
  - ・ 営業経費は増加したものの、一般貸倒引当金繰入額の減少により、業務費用は減少した
- **コア業務純益及び本業収益は609百万円 (同▲49百万円) とともに黒字を確保した**
- **経常利益は585百万円 (同+100百万円) となるも、繰延税金資産の取り崩しなどにより法人税等調整額が増加し、中間純利益は342百万円と同▲48百万円**

## 2.決算の概要 (預金<NCD含む>・預かり資産)

- 預金と預かり資産を合わせた総預かり資産残高は、前年同期比▲76億円減少し、8,954億円  
・うち預金残高は、同▲163億円減少し、7,912億円。預かり資産残高は、同86億円増加し、1,042億円
- 預かり資産の販売額は、不安定な相場環境により投信販売が落込み同▲6億円減少、保険は同43億円の増加
- 預かり資産の販売手数料は、金利上昇の影響により保険販売手数料が増加、同0.7億円増加し、5.2億円

### 預金＋預かり資産の残高推移

(億円)

	20/9	21/9	22/9	23/9	前年同期比
預 金	7,610	7,756	8,075	<b>7,912</b>	▲163
個人	4,989	5,042	5,048	<b>4,947</b>	▲101
法人	2,083	2,224	2,317	<b>2,082</b>	▲235
地公体他	537	488	709	<b>883</b>	173
預かり資産	859	957	955	<b>1,042</b>	86
投 信	330	388	397	<b>412</b>	15
保 険	499	544	535	<b>608</b>	73
公共債	29	24	22	<b>20</b>	▲2
合 計	8,469	8,714	9,031	<b>8,954</b>	▲76

### 預かり資産 販売額推移

(億円)

	21/上期	21/下期	22/上期	22/下期	23/上期	前年同期比
投 信	119	90	74	62	<b>68</b>	▲6
保 険	35	38	41	50	<b>85</b>	43
公共債	1	0	1	1	<b>1</b>	0
合 計	155	130	117	113	<b>155</b>	38

### 預かり資産 販売手数料推移

(※SBIマネープラザ手数料を含む)

(億円)

	21/上期	21/下期	22/上期	22/下期	23/上期	前年同期比
合 計	6.0	5.4	4.4	4.5	<b>5.2</b>	0.7

## 2.決算の概要 (貸出<私募債含む>)

- 貸出残高 (私募債含む) は、6,221億円。前年同期比▲10億円の減少
  - ・ 事業性貸出 (私募債含む) は、新型コロナウイルス対策資金の返済が進み同▲144億円の減少  
 私募債は、同▲27億円の減少
  - ・ 消費性貸出については、住宅ローン実行の増加により、同74億円の増加
  - ・ 事業性融資先数は中期経営計画の最終年度数値目標6,000先に対し、23年9月末時点で5,377先で推移
- 貸出平均約定金利は、営業店事業性貸出金利が1.55%と上昇したものの、住宅ローン貸出金利が0.90%と低下したため、総貸出金利は0.01%低下

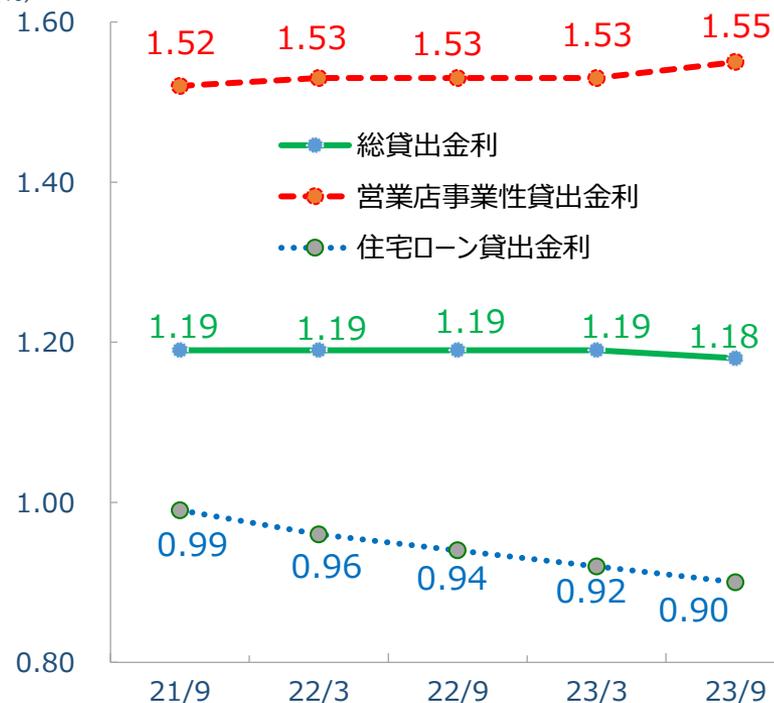
### 貸出 残高推移

(億円)

	20/9	21/9	22/9	23/9	前年同期比
事業性	2,852	3,064	3,103	<b>2,958</b>	▲144
営業店	2,112	2,280	2,264	<b>2,135</b>	▲128
私募債	312	383	430	<b>402</b>	▲27
本部	427	400	407	<b>420</b>	12
消費性	1,967	2,059	2,168	<b>2,242</b>	74
住宅ローン	1,682	1,785	1,898	<b>1,971</b>	72
消費者ローン	225	220	221	<b>225</b>	4
消費性その他	59	53	48	<b>45</b>	▲2
地公体	888	832	837	<b>938</b>	100
その他	154	129	122	<b>81</b>	▲40
合計	5,863	6,086	6,231	<b>6,221</b>	▲10
平 残	5,692	5,982	6,115	<b>6,218</b>	102
事業性融資先数	5,410	5,600	5,560	<b>5,377</b>	▲183

### 貸出平均約定金利

(%)



## 2.決算の概要 (有価証券)

- 有価証券の残高は1,536億円 (前年同期比▲16億円の減少)
  - ・ 債券中心のインカム運用方針を継続
  - ・ 債券の期日償還及び金利上昇に伴う評価損拡大により残高が減少
- 有価証券の評価損益は▲77億円 (同9億円の悪化)
  - ・ 金利上昇等急激なマーケットの変動により保有している債券の評価損が拡大  
ただし、保有している債券は信用力の高い国債や地方債等が中心であり、満期まで保有すれば元本が償還される
  - ・ SBIグループと引き続き連携し、拡大した評価損縮小を進めるとともに、中長期的なポートフォリオの健全化に努める
- 債券のデュレーションは8.9年 (同0.3年の短期化)

### 有価証券 残高推移

	20/9	21/9	22/9	23/9	前年同期比
債券	654	774	896	869	▲26
国内債	617	751	873	857	▲15
外国債	36	23	22	11	▲10
投資信託	671	672	616	616	0
外債型	671	672	616	616	0
株式型	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
株式	22	21	20	18	▲1
その他	14	13	20	31	10
合計	1,363	1,481	1,553	1,536	▲16
保有有価証券の 評価損益	1	2	▲68	▲77	▲9
債券の デュレーション (年)	9.7	9.7	9.3	8.9	▲0.3

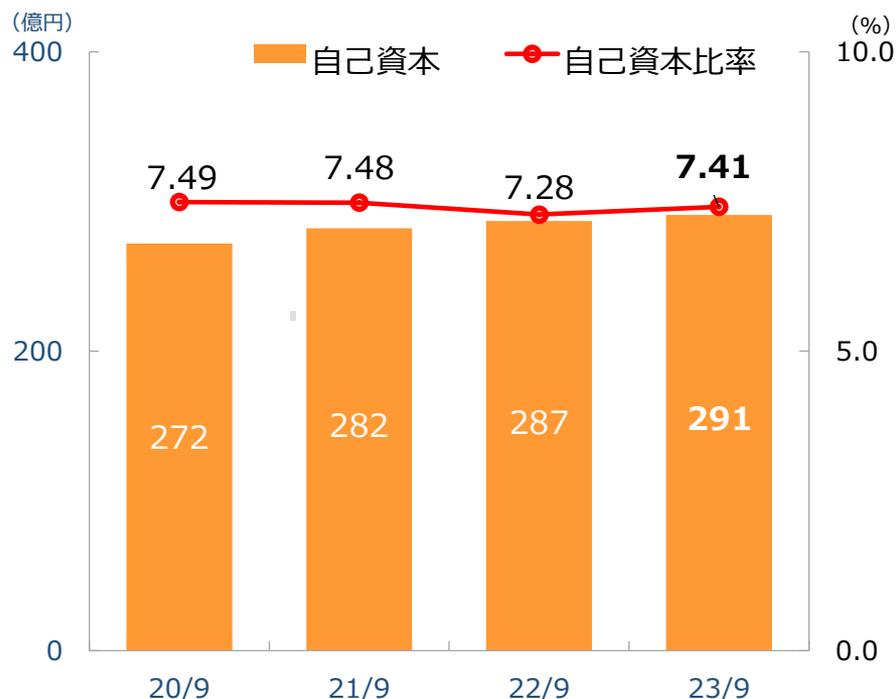
### 有価証券利息配当金と有価証券利回り



## 2.決算の概要 (健全性)

- 自己資本比率は、7.41%（前年同期比+0.13%）と上昇、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は7.82%（同+0.11%）
- 金融再生法開示債権は、118億円（同▲3億円）  
金融再生法開示債権比率は、1.89%（同▲0.06%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、1.3億円（同▲0.5億円の減少）

### 自己資本比率



### 金融再生法開示債権比率



### 与信関連費用

(※) 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額  
+ 貸出金償却等 - 貸倒引当金戻入額

期	20/9	21/9	22/9	23/9	前年同期比
与信関連費用 (億円)	3.7	3.1	1.8	1.3	▲0.5

## 2.決算の概要 (2024年3月期の決算予想)

- 2023年度（2024年3月期）は、次期システム関連費用の増加が見込まれ、5億円程度の当期純利益を見込んでおります。
- 2023年度（2024年3月期）の配当は、1株あたり5円を予定しています。
- 2023年11月6日に2023年9月期の業績予想を上方修正いたしました。

### 2023年度（2024年3月期）決算予想

(億円)

		22/3月期 実績	22/9月期 実績	23/3月期 実績	23/9月期 実績	24/3月期 予想
単 体	経 常 収 益	107	52	105	53	106
	経 常 利 益	7	4	10	5	6
	当期純利益/中間純利益	8	3	7	3	5
連 結	経 常 収 益	131	66	132	66	132
	経 常 利 益	7	5	11	5	6
	親会社株主に帰属する 当期純利益/中間純利益	8	4	8	3	5



# 3.中期経営計画 の取組み

## 1 本業支援 コンサルティング業務

経営改善計画書を共に策定するなど、お客さまの課題解決や本業支援に向け伴走支援し、コンサルティング機能を強化します。

- 営業店と本部が一体となって、事業計画書または経営改善計画書をお客さまと共に策定します。
- SBIなどと連携し、お客さまの課題解決に資する商品・サービスを提供します。

事業承継・M&A

販路拡大  
ビジネスマッチング

人材紹介

業務効率化・  
生産性向上、  
DX化の推進

## 3 DX化の推進

お客さま利便性の向上に資する次期システムの更改やビッグデータの活用による営業の高度化、PC1人1台化による業務改革・業務効率化、働き方改革のためにDX化を推進します。

- 消費性ローンWeb完結化など、お客さま利便性の向上を図ります。
- DX委員会内に協議内容ごと組織横断的に3グループを設置し、DX化を強力に推進します。

Aグループ

次期システムの更改、サブシステム、API連携などを推進

Bグループ

ビッグデータの活用による営業の高度化やWebを利用した提案営業の強化などを推進

Cグループ

PC1人1台化によるペーパーレス化、テレワークによる働き方改革などを推進

## 2 個人取りまとめ融資

多重債務に苦しみお客さまや廃業を希望されるお客さまとの対話を重ね、債務を取りまとめするなど生活再建を応援します。

- 専担者4名体制で県内4地区に本部担当者を配置します。
- お客さまとの対話を重ね、お客さまが直面している課題に正面から共に向き合い、最適なプランを提案します。
- 後継者不在、コロナ禍などの影響により、ご融資の返済に不安をお持ちのお客さまに寄り添い、伴走支援を行います。

## 4 人材育成

本業支援に強い社員、事業承継・M&Aなど専門分野の知識を持つ社員の育成を図ります。

- **事業性融資研修プログラムの実施**  
主に入行5年目までの若手社員を対象とし、事業性評価に基づいたお客さまの課題解決、資金繰り支援、本業収益の改善を伴走支援できる人材の育成を図ります。
- **中堅社員、新任支店長(課長)向け研修の充実**  
中堅社員向け本業支援研修、新任支店長・課長向け店舗運営などの研修を強化します。
- **傾聴力と対話力を高める研修を実施**  
お客さまや社員相互のコミュニケーションを豊かにする研修を実施します。
- **専門分野の知識が豊富な社員の育成**  
SBIグループとの連携により、事業承継・M&A部門や有価証券運用部門に若手・中堅社員を派遣し、専門分野の知識が豊富な人材の育成を図ります。

## 1

### 本業支援

### ふくぎんBMSマッチング事例

ECサイトを充実させたいA社とインターネットでの販路拡大を目指すB社

#### 課題

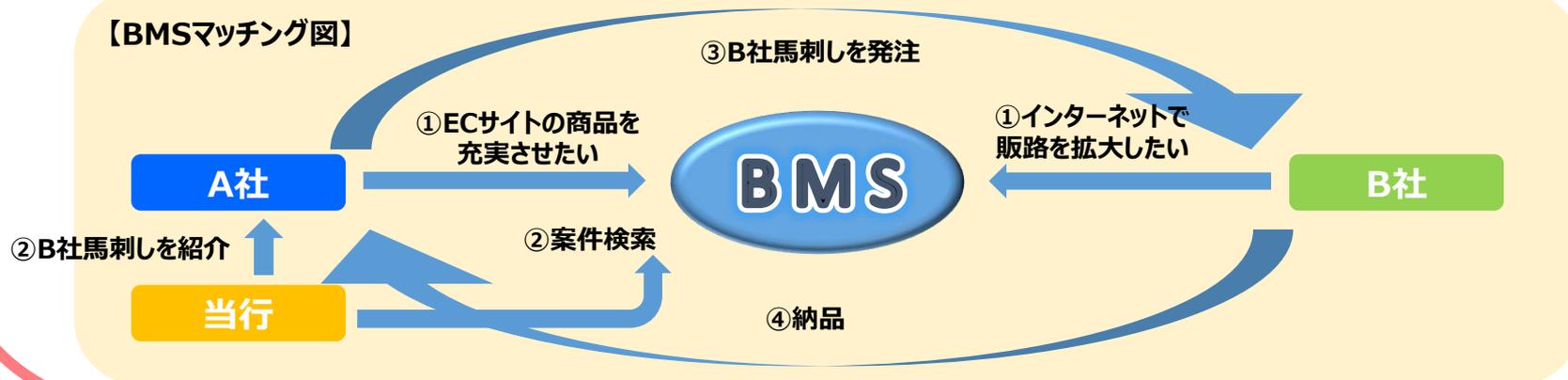
- ・ A社は日本の優れた商品を世界に届けるために、**ECサイトを運営する企業**。**良質な馬刺し**を掲載することを計画し、当行へ相談となった。
- ・ お客さまの**課題解決**のために、ふくぎんBMS上で、良質な馬刺しを取り扱う福島県内の**精肉販売業者B社**を紹介。

#### 解決策

- ・ A社の代表者は早速B社へ赴き、**馬刺しを食べ**、商品を確認。軽種馬の肉を使った馬刺しは**脂身が少なく、やわらかく美味しい**ため、B社馬刺しの**採用が決まった**。
- ・ B社も**インターネットを使った販路拡大**を計画しており、**双方のニーズが合致しマッチング**となった！
- ・ A社ECサイトにてB社馬刺しは**目玉商品の一つ**となっている。



【BMSマッチング図】



## 1

### 本業支援 外部機関との連携に基づく再生事例

#### 入行5年目の社員が関係者の調整をし、再生スキームを実行

##### 課題

- ・ C社は印刷業を営むが、先代社長の事業拡大方針が上手くいかず、借入金が増大、**返済が滞ってしまった**。
- ・ 後継者と中小企業診断士が再生を目指すも、**メインバンクが支援を拒否**し、当行に相談。**入行5年目の社員**が担当となり**再生案件**に取り組む。

##### 解決策

- ・ 入行5年目の担当は**逆境のなか、後継者が事業に真摯に向き合ってきたことや、当社を支える取引先の存在を評価し、支援を検討**。
- ・ 再生スキームのもと、既存債権者の債権放棄・政府系金融機関の協調支援等**金融調整に成功**。新会社を設立し、適正な規模の債務となり、**事業再生の目途**がたった！

##### 【事業再生スキーム図】



## 2

### 個人取りまとめ融資

取りまとめ事例

#### 子どもの大学進学により多重化してしまったA氏のケース

##### 課題

- ・ A氏は**50代の会社員**で、妻と同居、子どもは独立して別居している
- ・ **子どもの大学進学**に伴い、学費と仕送り費用の工面のため、**カードの利用が増加**。他金融機関に相談するも、**有効な提案はなかった**
- ・ 当行に相談となり、住宅ローン含めた**借入の見直し**を検討することに



##### 解決策



##### ● Before

借入先	残高	毎月返済額
A銀行	6,202,142	106,067
A銀行	506,966	24,509
B銀行	2,979,449	35,000
C銀行	2,965,794	60,000
Dカード会社	1,440,727	40,000
Dカード会社	2,713,317	112,000
Eカード会社	1,729,813	30,000
合計	18,538,208	407,576

##### ● After

- ・ 7口の借入を2口に取りまとめ。期間を調整し、生活収支の範囲内に返済額を設定！

従来の返済額407,576円が  
**毎月返済額 131,000円へ!!**  
**(276,576円の負担減)**



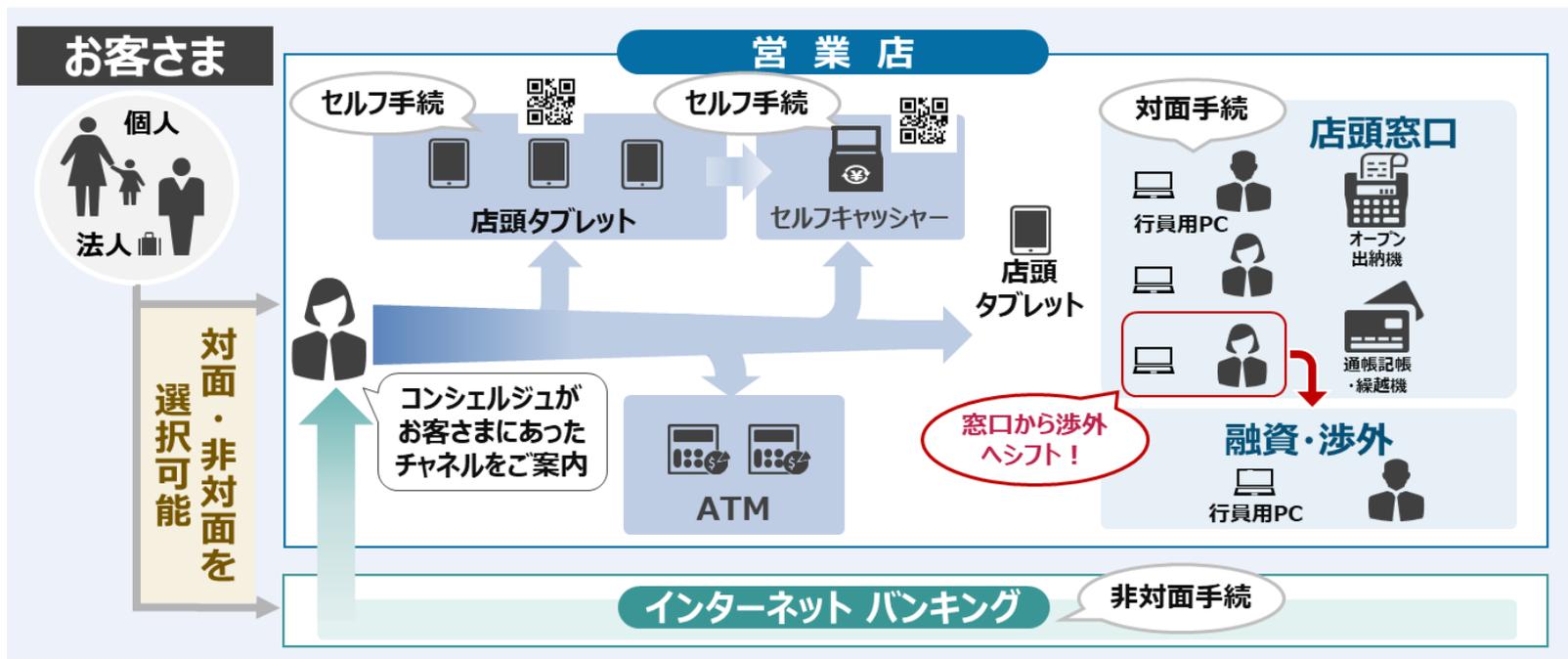
## 3

# DX化の推進

## 次世代バンキングシステム

### 金融機関の心臓部「勘定系システム」を2024年中に稼働予定

- 当行とSBI、フューチャーアーキテクトの3社でクラウド上の「AWS(アマゾンウェブサービス)」に新システムを構築「年間コスト」を大幅に抑え、数年毎の更新費や切替時費用も不要
- QRコード等を利用し、伝票レス・印鑑レス・通帳レスなどスムーズな取引が可能。フィンテックなど外部業者と柔軟に連携し、お客さまへ最新の金融商品・サービスを提供



## 4

## 人材育成

### 店頭社員研修/融資マイスター研修

#### 店頭社員研修



- 次世代バンキングシステム稼働にあたり、コンサルティング営業をできる社員を育成するために、2023年4月より店頭社員研修を実施しています
- 生命保険会社社員による座学とコンサルティングアドバイザーとの同行訪問を実施し、実践力のある人材を育成しています

#### 融資マイスター研修



- 中期経営計画の主要施策である「本業支援」と「個人取りまとめ融資」をさらに推進するため、融資業務に優れた人材を育成しています
- 2023年6月より、審査部、与信統括部を中心とした融資知識のある人材を教育担当者として任命し、融資業務の実務を中心としたOJTを実施しています



## 4.次世代

# バンキングシステム (SBIとの連携)

## SBI、フューチャーアーク外、福島銀行の3社にて 次世代バンキングシステムを開発！2024年カットオーバー予定！



### 次世代バンキングシステムの特徴

- システムを**ゼロベース**で構築。データ構造の**シンプル化**、**スリム化**により効率化を図る。
- **オープンAPI**により外部事業者と柔軟に連携、**最新の金融商品・サービス**に対応可能。
- 銀行業務を紙から**デジタルベース**へ変革、保管・管理業務や印刷コストの削減など業務効率化を図る。
- 開発期間を**STEP 1（2024年）**～**STEP2（2025年）**に分け、段階的に進化していく。

# 次世代バンキングシステムで 銀行取引がスマートに！

① 銀行窓口をもっと便利に！

② スマホを使ってもっと便利に！

③ 法人インターネットバンキングも、もっと便利に！

## ① 銀行窓口をもっと便利に！

### 営業店はこう変わります！（イメージ）



- ・書類が多く、保管するのも大変！
- ・専用端末がたくさん並び、場所をとっています



STEP1

- ・ペーパーレスで紙資源を削減します！
- ・スッキリした店舗でお客さまはゆったりと

STEP1

**伝票記入不要・印鑑不要！！**  
**通帳レスのお取引も可能**



STEP1

**タブレットでスピーディーにお取引！！**  
**待ち時間ゼロを目指します！**



## ② スマホを使ってもっと便利に！

### バンキングアプリがもっと便利に!!

#### STEP1

目的別に口座を作成いただける新サービス!!

<家計簿> <教育積立> <旅行積立>



#### STEP2

各種申込みや内容の確認を手のひらで!!



- ローンお申込みや毎月の引き落とし金額の照会が可能に
- 投信・保険のお取引状況の照会も可能に
- STEP1でセキュリティも一層強化

#### STEP1

全国のコンビニATMで  
スマホだけで現金引き出しが可能!!



#### STEP1

ご家族情報をお届けいただくと  
うれしいサービス!!

- ご家族間の振込手数料を優遇!!
- お客さまのライフイベントに応じて、タイムリーにお役に立つ情報をお届けします



## ③ 法人インターネットバンキングも、もっと便利に！

### STEP1

使いたい機能だけ、契約できます!!

- 新料金プラン導入、最安プランは『**無料!!**』

**お得**



### STEP1

通帳、印鑑をもたなくていいから安心!!

- **2次元バーコード**を利用した口座出金が可能に



### STEP1

生体認証の導入により、セキュリティを強化!!

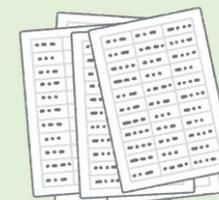
- ID・パスワードに代わり**生体認証**導入



### STEP2

面倒な来店を無くします!!

- サイト内で残高証明書等が **いつでも取得可能**に





**5.2023年度の**

**主な取組み**

## ●各地のお祭りに参加しました！

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各地でお祭りが通常開催されました。当行でも地域貢献・地域活性化のため、積極的に参加しました。



● いわきおどり



● 相馬盆踊りパレード



● 福島わらじまつり



● 信陵夏祭り



● 白河関まつり



● 四倉夏まつり



● やっぺおどり大会



● 郡山うねめまつり



● いわき踊り小名浜大会



● いわき回転やぐら盆踊り大会



● 会津まつり



● ほばらサマーフェスティバル



● 相馬盆踊り



● 蔵のまち喜多方夏まつり

## ●第32回「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」にて6団体へ助成！

福島県における自然環境の保全を図り、自然と人間の調和のとれた社会づくりに資することを目的として、1992年に設立。設立以来、今回で32回目の助成となり、助成先は100先、助成額は総額2,282万円に達しております。今年も9月に選考委員会を開催し、以下の6団体へ助成いたします。



団体名	助成事業名
須賀川に清流を取り戻す市民の会 会長 高橋 恒雄	須賀川に清流を取り戻そう
猪苗代湖の自然を守る会 代表 鬼多見 賢	猪苗代湖の環境保全活動
夏井川流域住民による川づくり連絡会 代表世話人 橋本 孝一	夏井川かわくんだり (第10回)
遊水会 会長 深谷 哲雄	せせらぎスクール時に安全確保に必要なライフジャケットの購入事業
ふくしま水田植物調査隊 代表 出島 聖也	ふくしま水田植物調査プロジェクト
特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議 理事長 藤田 豊	猪苗代湖における水質改善への取組と研究調査 (22年度からの継続調査)

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	186億円
株主数	14,237名
従業員数	615名（うち正社員462名）
店舗数	57店舗（5出張所、2リムション°ラザ、 10-ン°ラザ、1ネット支店含む）
預金残高	7,912億円
預かり資産	1,042億円
貸出金残高	6,221億円（私募債含む）
自己資本比率	7.41%（単体）、7.82%（連結）
金融再生法 開示債権比率	1.89%
連結子会社	(株)ふくぎんリース&クレジット（2021年4月1日合併） (株)東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

【2023年9月末現在】

**（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 寺島達也、金成洋輔 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338**

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。